

水と土の芸術祭 2018 骨子（案）に対する市民意見の概要について

水と土の芸術祭 2018 骨子（案）（以下「骨子（案）」という。）について、市民意見を募集するとともに、自治協議会やコミュニティ協議会において骨子（案）の説明を行い、意見を伺った。

1. 市民意見の募集結果概要について

(1) 募集期間等

- ① 期間：平成28年9月26日（月）～11月11日（金）
- ② 方法：市報やホームページで告知のうえ、各区役所・出張所、市政情報室にて骨子（案）や水と土の芸術祭 2015 総括報告書等を公開し、意見の募集を行った。
- ③ 内容：次回開催の可否、骨子（案）の気になる点及び具体的なご意見ご要望について
- ④ 意見者数：116人（開催に肯定的な意見110人、否定的な意見6人）

(2) 意見概要

① 開催の可否について 意見：120件

項目	主な意見
開催に肯定的な ご意見 (110人 114件)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 潟など地域の自然や歴史、豊かな文化を発信・再発見する良い活動であり、まちづくりや地域の活性化にも繋がるため継続してほしい。(15件) ・ 新潟市の豊かな自然や食などの魅力を発信するよい機会である。(9件) ・ 新潟市は文化・歴史を持つ都市であり、誇るものが身近にありつつも、気づかない市民が多くいる。この再発見を趣旨とする取り組みは止めてはならない。(2件) ・ 知名度も上がり定着しており、ここでやめたら意味がない。トリエンナーレ化し、継続してほしい。(9件) ・ 継続するだけでなく、2021年やその先の開催に向けたベースとなるような成果実績が生まれることに期待する。(2件) ・ 来場者数も伸び、経済波及効果が増えており、今後も地域経済に貢献できる芸術祭としてほしい。(6件) ・ 観光を盛り上げる大きなイベントとして更に発展させてほしい。(3件) ・ 多世代への文化的なアプローチであり、市民文化活動の活性化に繋がる。(4件) ・ 今後とも文化に関わる市民参加の機会として重要であり、参加性を高めていくためにも継続開催してほしい。(3件) ・ 本市の特徴を活かした地域活性化の取り組みは地方創生にも繋がる。(3件) ・ 食・おもてなしは重要であり、芸術祭の中心とすべきである。(3件) ・ 芸術祭の魅力をもっと向上させる。(2件) ・ アート作品の質を上げる。(2件) ・ 二次交通をさらに考慮した方がよい。(2件) ・ 次回（第4回）を最後の開催とし、盛り上げてはどうか。(1件) ・ 会場を各区で順番に開催してはどうか。(1件) ・ 市の持ち出しを抑え、市民中心としてはどうか。(1件) ・ 開催してほしいなどの記載のみで、特に理由の記載がないもの(46件)
否定的な ご意見 (6人 6件)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一部の人だけに歓迎されているように思う。(1件) ・ アートの評価が低い。(1件) ・ 「市民プロジェクト」だけの独立した事業とすべき。(1件) ・ 無駄。税金は別な用途に使うべき。(3件)

②骨子(案)の気になる点 ③具体的なご意見ご要望 意見: 216件

項目	主な意見
計画概要 (33件)	<p>全体 (3件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・風土に根差した食や砂丘、港への注目は魅力的である。 ・毎回内容を変えるべき。 ・最終的にどうしたいのか分からない。
	<p>会場 (7件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区単位もしくはエリアに区分して順番に開催し、中身を凝縮する。(2件) ・16の潟に、人が集まる仕組みを作り各エリアで盛り上げる。 ・芸術祭以外でも楽しめる施設を使うと良い。 ・旧二葉中学校を有効活用してほしい。 ・バスで行かなければならないところでの開催は厳しい。利便性の良い場所が望ましい。(2件)
	<p>会期 (4件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会期は5月からの開催にしてはどうか。(2件) ・本祭だけでなくプレ、後企画として秋、冬でも実施してはどうか。 ・3年ごとの開催である必要性はない。
	<p>基本 理念・ 目的・ テーマ (8件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新潟の自然的な面と都会的な面の両方の魅力を活かした事業としてほしい。(2件) ・東京オリンピックを見据えている点がグローバルで良い。(2件) ・新潟市の伝統工芸にデザインが加わるような取り組みをしてほしい。 ・基本理念イコール市民憲章であるべき。 ・目的・テーマがよくわからない。(2件)
	<p>予算 (11件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予算、開催対象地を拡大すべき。地域の活性化には思い切った判断が必要。 ・参加者からも参加費を徴収して内容の充実を図ってほしい。(2件) ・入場料無料は行きやすくなって良い。 ・来場者数や経済波及効果の算出方法は市民にはよく理解できない。(2件) ・来場者数、経済波及効果が提示されているが、市民感覚としては盛り上がっていない。(2件) ・芸術祭にかかわる人件費も明らかにすべきではないか。 ・子ども達への予算が少ない。 ・芸術祭予算を各区の「特色ある区づくり事業」に配分する方が効果が上がるのではないか。
本体事業 (95件)	<p>市民 プロジェクト (14件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民プロジェクトとアートプロジェクトの相互作用を推進するには、支援の強化が必要。(5件) ・市民プロジェクト、こどもプロジェクトに比重を置いてほしい。(2件) ・市民プロジェクト実施団体間の連携を促し、相互の盛り上がりにつなげるべき。 ・市民が主体となって行っている点がとても良い。 ・公民館等を利用した市民の作品展示や、地域の特産品・産業などの紹介を行うことは重要である。 ・「地域拠点整備・連携」を推進すべき。全区を来訪者が回遊し、各区の特徴を浮き彫りにすることで魅力向上につながる。 ・市民プロジェクトはそれほど多くなくてもよい。 ・市民プロジェクトに力点を置きすぎ。 ・何のために、誰のためにしているのかわからない企画があり、やめたほうがよい。

<p>こども プロジェクト (9件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新潟の自然を知る機会であり、地域発展に繋がる事業である。(5件) ・こどもプロジェクトと市民プロジェクトの連携が有効である。 ・「“本物”に触れる」と、「新潟独自の水と土の暮らし文化を深く理解する」ことの双方を通して、子ども達が自分自身と出会うことが大切である。 ・小さな子が参加できそうな物づくりイベントがあるとよい。 ・もう一回行ってみたいと思うようなイベントを考えてほしい。
<p>アート プロジェクト (38件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・参加してほしい作家、作品等に関する要望(6件) ・前は全体に地味だった。機運を高め、より市民の関心を集めるためには、目玉になるアート作品が欲しい。(2件) ・「新潟だからこそそのアート」が感じられる作品を希望するとともに、ディレクターには新潟市の文化・歴史に詳しく大切に思う人を選任してほしい。 ・未来のアート作家に力を注いでもらいたい。 ・開催趣旨に合った適切な作家の選考と展示作品の質の向上を望む。 ・アーティストと多く触れ合える時間がほしい。 ・企画ごとに会場をしばり、展示作品の解説を充実させる必要がある。(2件) ・新潟観光循環バスで通るルートにアート作品を設置してはどうか。 ・展示場所の条件を柔軟にし、アーティストを招く市民プロジェクトの会場に近い位置での作品設置も検討するべき。 ・作品をすべて芸術家と市民がともに制作し、「芸術家と市民」で作り上げる大規模な芸術祭となれば、より高度な市民参加型となる。 ・普通の小中学生が書いたものをアート作品とともに展示する。 ・全国、海外からの誘客に繋がるアート、パフォーマンスを実施する。 ・アート予算は少なく小規模でも、丁寧に市民と作家が相互に理解、共感しあえるものがよい。 ・戦略としてアートプロジェクトがあることの意義が議論されるべきであり、国際芸術祭として、それなりの予算は必要。市民プロジェクトやまちづくりへの波及効果もある。 ・地域おこしではなく芸術祭であることを重視してほしい。 ・芸術はアートだけでなく、埋もれている古い文化の掘り起しにも繋がる。 ・メイン会場の充実、パフォーマンスの多彩さ、「何だかわかりげどスゴイぞ」と思わせるような挑戦的な内容に期待する。 ・どこでもやっていない新しいアプローチが必要。地域課題の解決を念頭に考えてほしい。 ・アールブリュットをどのように水土のテーマを絡めて導入するのか、理解を深め、水土で取り扱う意味を確立するものであることを望む。(2件) ・ライトアップ系のイベントを取り入れてはどうか。 ・障がい者の方も参加して楽しいものにしてほしい。 ・学生団体も巻き込める企画があるとよい。 ・各展示場所にガイドを付けることも大切。募集、育成が課題である。(2件) ・作品制作には職員が常駐してほしい。 ・アートプロジェクトと、食・おもてなしは良い。 ・ボランティア募集や連絡を積極的に行ってほしい。(3件) ・満足度が下がり記念写真を撮りたいと思う人が少ない。これが芸術作品かと思ってしまう。

<p>食・おもてなし (21件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・食・おもてなしの取り組みに興味がある。もっと多くてもよい。(4件) ・会場を巡る楽しい企画がほしいが、参加への意欲がかきたてられる内容が重要である。(3件) ・市内ショップに公認グッズを作ってもらい、お土産とともに販売してはどうか。(2件) ・食・おもてなしに焦点を当てるべきである。(2件) ・食の取り組みを各区、地域で行えれば楽しいのではないか。(2件) ・移動式カフェと同様の内容を雨・風・暑さを凌げる室内でも提供してほしい。 ・地域の特産など目玉として広く発信できるものがあれば様々な方面での発展を呼び込むものとなれるのではないか。 ・文化や伝統を水、土、芸術、祭とリンクさせたり、オーバーラップさせれば内容の濃いイベントになるのではないか。 ・来場者の傾向からファミリー向けの企画を作るのはどうか。 ・一カ所で満足度を上げられるような取り組みをすべきではないか。 ・新たに野外ステージや屋台村などを観光施設と併設し、散策路にはオブジェを設置するなど検討してはどうか。 ・鯛車の美しさに魅了された。製作工程の実演や販売、プラモデル化など新潟特産品として起業化してはどうか。 ・内容は盛りだくさんだが、目玉が欲しい。
<p>シンポジウム (2件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各作家が無料講義、WS、演習などする。 ・誰もが参加しやすいものになると良い。
<p>連携 (11件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市内文化施設、観光施設との連携を希望する。(3件) ・市内イベント、サッカーチーム、アイドル、マンガなどと連携すると盛り上がるのではないか。(5件) ・隣市とも連携することでお互いを訪れるきっかけになるのではないか。(2件) ・青島市と清州市を紹介するブースがあってもいいのではないか。
<p>二次交通 (24件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・交通機関の整備に力をいれてほしい。(11件) ・メイン会場は駐車場の確保が大切。(4件) ・経済波及効果を高めるために宿泊客の増加が不可欠であり、魅力的なアピールプラン設定が求められる。(3件) ・区バスの有効利用で一定期間本数を多くしてはどうか。 ・障がい者アートの要素を取り入れるにあたって、よりバリアフリーな環境への配慮が必要である。 ・期間を通じて食をからめた作品鑑賞ツアーをお願いしたい。 ・学校などへのバスの助成や案内人をつけるサービスを検討してほしい。 ・新潟観光循環バス内にアートを飾ってはどうか。 ・移動方法については外国人への配慮が重要である。
<p>広報 (34件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・広報に力を入れた方がよい。(9件) ・ホームページ、SNSの更なる活用。(3件) ・大学、子どもなどに向けて知ってもらう機会を増やすと良い。(2件) ・県外、海外へ発信すべき。(2件) ・今回は、「適正な準備期間」「早期からの広報」「情報の一元化」を特に意識してもらいたい。

	<ul style="list-style-type: none"> ・人の目に触れるところでPRする必要がある。 ・来場者の分布からどこに積極的にPRすべきか判断すべき。 ・情報は分かりやすく提供し、各会場への交通手段も確保している必要がある。 ・潟の魅力をより発信した方が良いのではないか。(2件) ・地域の魅力を発信できる機会をさらに増やすべきである。 ・アート作品の紹介動画を総合案内所やメイン会場等で紹介してはどうか。 ・参加型イベントや子どもには集客のパワーがある。サッカーや大会などでオリジナルの踊りを作ってもらってはどうか。 ・新潟出身の作家アニメなどを再放送し、ゆかりの場所を紹介してはどうか。 ・テレビのイベント情報で宣伝してはどうか。 ・パンフレット(ガイドブック)の配布をすべき。(2件) ・市役所の電光掲示板はとてもよかった。 ・高い映像技術を持つ会社は新潟にもあるので、協力してはどうか。 ・スタンプラリーを開催した方がよい。 ・スタンプラリーは市民プロジェクトも別枠でやれたらよい。 ・スタンプラリーはただ押せるだけの仕組みはなくしてほしい。
<p>その他 (30件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・みずつち市民サポーターが協働できる仕組みを作してほしい。(2件) ・芸術祭において継続的に関わり地域との関係を構築する役割を担えるような人材が必要であり、その部分は民間に委託すべき。 ・市役所内での他課との連携も大変重要である。 ・芸術という視点から社会課題を解決する試みを行い、社会的な価値がある芸術祭とする。 ・何を最終目標にしているのか、評価軸と共に再考すべき。公共事業としての社会的インパクトの定量評価もなされるべきである。 ・民間主導型の協働事業として、医療・福祉・介護、教育、産業などアートの視点を活用した多分野横断型のプロジェクトを実施し、効果を期待する声がある。 ・次回で芸術祭は一区切りして、3年毎のやり方、内容を大幅に見直してはどうか。開催と合わせて、その後のビジョンも同時発表されると良い。 ・日頃から「潟」に関心を寄せられるよう周辺の清掃ボランティアを募ってほしい。 ・通年で残るようなものがほしい。 ・「議会での意見」が見えてこない。市報で特集すべき。 ・関心なし、市民感覚とずれている。 ・骨子(案)に対する質問など(18件)

2. 自治協議会・コミュニティ協議会からの意見聴取について

(1) 意見聴取の方法について

① 自治協議会での意見聴取

ア 期間：平成28年9月26日（月）～10月28日（金）

イ 方法：上記期間に開催された各区自治協議会において骨子（案）について説明し、意見を伺った。

ウ 意見数：発言者20人、意見件数34件

エ 肯定的なご意見 8人、12件／否定的なご意見 4人、6件／質問 8人、16件

② コミュニティ協議会連絡会での意見聴取

ア 期間：平成28年10月18日（火）・20日（木）

イ 方法：東区・中央区におけるコミュニティ協議会連絡会において骨子（案）について説明し、意見を伺った。

ウ 意見数：発言者7人、意見件数7件

エ 肯定的なご意見 2人、2件／否定的なご意見 0人、0件／質問 5人、5件

③ コミュニティ協議会へのインタビュー

ア 期間：平成28年10月26日（水）～11月9日（水）

イ 方法：各区コミュニティ協議会の中から推薦いただいた人物に直接訪問してインタビューし、意見を伺った。（東区・西区除く）

ウ 対象者：6人、意見件数45件

エ 肯定的なご意見 6人、42件／否定的なご意見 0人、3件

(2) 意見概要

項目	主な意見
全体 (24件)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域活性化のきっかけとなっている。一過性の取り組みで終わりにしないでほしい。【北区・江南区】 ・地域の魅力は見過ごしがち。基礎的な取り組みとして大事なことだと思う。【西蒲区】 ・将来への投資として文化の取り組みやイベントは必要である。【中央区・江南区】 ・物欲には限りがない。昔は「物」がなかったので必要なものは今ある物で自ら作り出した。そういう創造性がこれから必要だと思う。【江南区】（2件） ・文化の定着や、意識の醸成には時間がかかる。【北区・南区】 ・文化をはぐくむ社会は平和だと思う。【西蒲区】 ・東京オリンピックにむけた事業として、2020年までの動きが重要だと思う。【秋葉区】 ・地域との関わり、地域拠点づくりを重視してほしい。【南区・秋葉区】 ・地域の歴史や文化を浮かび上がらせる努力を地域全体で行っていくとよい。【南区】

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常の生活から生まれた伝統文化を、浸透させていくのがよい。祭りの屋台を設けるなど裾野を広げてはどうか【秋葉区】 ・ 来場者数が増えている。交流人口の拡大という点で開催してよいと思う。【北区】 ・ 来場者数や経済面を重視するだけでは理念が伝わらず、根本がおろそかになる。【南区】 ・ 新潟の文化度を上げることか、外への売り込みかどちらにウエイトを占めるのか検討してほしい。【西区】 ・ 誰のための企画なのか名称を含めてよく検討してほしい。【西区】 ・ 第1回の芸術祭は、区内での理解が得られず不評だった。【南区】 ・ 市民のコンセンサスが得られていない、大地の芸術祭の垂流、目的が理解できないなどの声を聞いている。水と土の芸術祭は“間口”が広く中心に据えているものが見えにくい。【中央区】 ・ マンネリ化しているのではないか。【秋葉区・西区】 ・ まだ市民権を得られていない。満足度が高くないのなら、開催しなくてもよいのではないか。【秋葉区】 	
計画概要 (6件)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 芸術祭開催は3年ごとが適当ではないか。【西蒲区】 ・ 従来程度の経費であればよいのではないか。【北区・中央区】 ・ 芸術祭以外の事業に予算を使っほしい。【秋葉区】(2件) ・ 潟は理解できた。【中央区】 	
本 体 事 業 (20件)	市民 プロジェクト (7件)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域的な取り組みは機会があれば参加したいという方も多い。子どもの刺激にもなるため、子どもが参加できる市民プロジェクトは大事だと思う。【北区】(2件) ・ 市民の意識を変えていくためにも、市民プロジェクトに参加してもらうことを推進してほしい。【中央区】 ・ 地域活性化や地域のつながりを作るために市民プロジェクトはよいと思う。【北区・西蒲区】 ・ 市民プロジェクトや水と土の芸術祭の補助金は地域のまちづくりにとってありがたい。【秋葉区】(2件)
	こども プロジェクト (2件)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域活性化や地域のつながりを作るためにこどもプロジェクトはよいと思う。【西蒲区】 ・ 潟の干拓の歴史や農業の現状を子ども達と考え、伝えていくことが必要と思う。【西蒲区】

<p>アート プロジェクト (8件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アートで地域を繋いでいる例もある。アートで一つの地域おこしができるとよい。【江南区】 ・アート作品はあっと驚くものが必要である。【中央区】 ・解説するだけでなく、見せ方を変えて提示したらアート作品を理解してもらえるのではないか。【江南区】 ・地域の歴史や特徴を再認識する取り組み自体をアートとしてとらえることも必要だと思う。【南区】 ・作品展示に旧二葉中学校の活用を検討してほしい。【中央区】 ・作品展示は人が集まる場所がよい。【東区】 ・芸術祭終了後は、作品は撤去する方向で考えてほしい。【中央区】 ・アート制作に対する地域全体としての関わりが薄い。【南区】
<p>食・おもてなし (3件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・食文化の発信を取り入れてほしい。【秋葉区】 ・地域の祭りや公民館での文化活動などを発表できる場があるとよいのではないか。【中央区・秋葉区】
<p>連携 (1件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大地の芸術祭と連携して開催してほしい。【西区】
<p>二次交通 (6件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・来場者を更に増やすには交通の便への配慮が重要だと思う。【北区・秋葉区】 ・郊外から会場までのパークアンドライドも考えられるのではないか。【北区】 ・おすすめ作品の鑑賞ツアーなどをつくって売り込むとよい。【中央区・江南区・秋葉区】
<p>広報 (4件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市民感覚での理解を得るには、インパクトのあるロゴを活用して浸透させるとよい。のぼりなどで市内全体を盛り上げていく必要があると思う。【中央区】 ・より県外向けの取り組みが必要と思う【秋葉区】 ・スマートフォンの活用を図るとよい。【秋葉区】 ・海外の誘客方法について検討したほうがよい。【秋葉区】
<p>その他 (25件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートでは芸術祭のリピーターを調査したほうがよい。【秋葉区】 ・来場者数から考えてアンケートの回収数が少ないと思う。【西区】 ・3年ごとの開催では盛り上げにかけるのではないか。芸術祭のない年の構成を検討してほしい。【秋葉区】 ・骨子(案)に対する質問など【北区・東区・中央区・江南区・西区】(22件)